

多摩未来奨学金 奨学生の声



実際に企業を経営されている方々の生の意見を聞くという、またとない経験ができました。

加盟機関との関わりから興味関心意欲の向上



普通の大学生生活では決して交わらなかった人達との道を繋げてくれる機会を与えてもらい、深く感謝しています。



多摩の企業や行政の方とも意見交換ができたことは多摩をテーマにゼミ活動をしていた私にとって、とても貴重な経験になりました。



奨学生に採用されたことで、アルバイトが占める時間的な負担が軽減され、学業に専念することができました。



多摩未来奨学金制度がなければ、留学を志すことも、資格を取るための費用も賄えませんでした。感謝しています。

金銭面の不安軽減による学業集中 学生生活やスキルアップのための専念



企業の方との名刺交換や懇親会などを通じて社会的マナーが身につきました。



礼儀・作法といった部分において多くのことを学ばせて頂き、就活の面接や選考先企業とのメールのやり取りなど、自信を持って取り組めるようになった。



課外活動を通じたビジネスマナーの取得

名刺交換の仕方や企業の方々との交流が私自身の大きな経験になりました。自分の知らない事がまだまだある事や色々なモノの見方がある事を学ぶことができました。



会長挨拶



会長
小原 芳明

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩は、任意団体から始まり、2012年に公益社団法人となりました。2022年には創立20周年を迎えます。私たちの団体は他に類を見ない産官学連携の機関で、この活動を通して、人材育成や教育力の向上に寄与してきました。大学間のみならず、企業や行政、NPO法人などとも連携しながら多摩地域の活性化を目指していきます。全国に50ほどある大学のコンソーシアム事業のなかでも際立って大規模かつ、ユニークな挑戦をこれからも続け、多摩地域の期待に応えられるよう頑張ります。

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩 会長
玉川大学 理事長・学長
小原 芳明

ロゴマーク



network TAMA

ネットワーク多摩のロゴマークは、組織の柱である「学術・文化・産業」を3つの円の連なりで表し、各種団体との「連携と協働」を大切にしながら、未来に向けて発信していく様子を円の大小で表しています。